

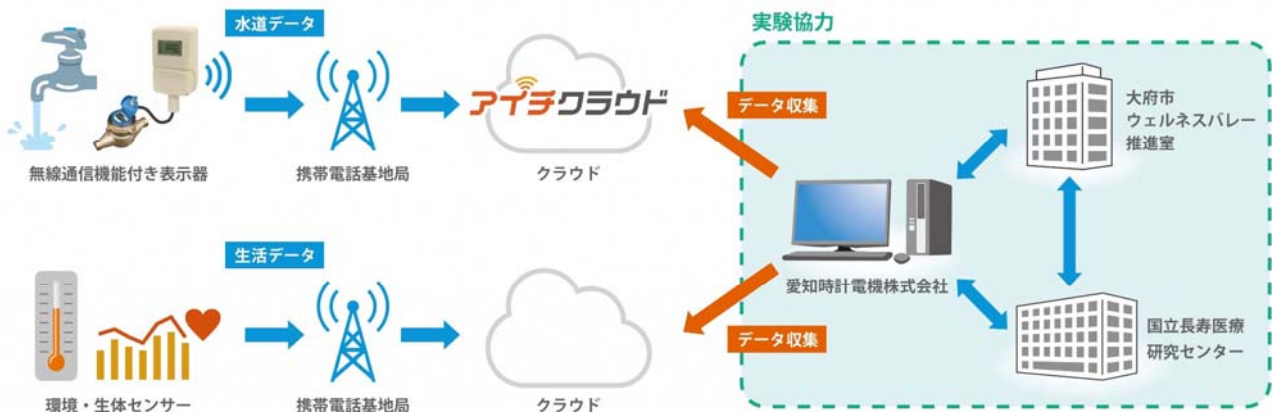
# ウェルネスバレーワンストップ窓口事業から 水道使用量と生活データを活用したフレイル検知実証事業が誕生

大府市は、ウェルネスバレー関係機関と市内外のものづくり企業のワンストップで支援するワンストップ窓口事業から誕生した、水道使用量と生活データを活用したフレイル検知実証事業を開始します。

## ■「フレイル検知実証事業」の概要

実証期間／12月17日（金）～令和4年6月中旬

経緯／愛知時計電機株式会社から水道の流量の変化を利用して、フレイル検知するアルゴリズム開発のため実証先紹介の相談があり、さわやかなの丘につないで実証事業を開始することとなりました。国立長寿医療研究センター健康長寿支援ロボットセンターの支援により、健康異変、フレイル検知に関するアドバイスを受けています。



開発企業／愛知時計電機株式会社（名古屋市熱田区千年 1-2-70）

事業内容：水道メーター、ガスメーターの製造、センサーやシステムの開発

ウェブサイト：<https://www.aichitokei.co.jp/news/202112obu/>

実証先施設／さわやかなの丘（大府市半月町 4-188）

事業主体：アイ・ドリームライフサポート株式会社

関連機関／国立長寿医療研究センター健康長寿支援ロボットセンター（大府市森岡町 7-430）

市の関与／試作品の構造などに関するアドバイスをしました。健康変異、フレイル検知など医療に関する支援を仰ぐため、国立長寿医療研究センターと開発企業をつなぎました。